

「古代社会との関わりからの漢字指導」

優秀賞



山口県立山口中央高等学校 牛見 真博氏

尊敬する白川静先生の御名前を冠した賞をいただくことができ、大変嬉しく光栄に存じます。大学時代、白川先生の御著書や御講演に触れ、以来その魅力に強く惹かれました。その頃、先生にサインをいただいた御著書『孔子伝』は、今もかけがえのない宝物です。今回の受賞を励みに、生徒が漢字の面白さ、奥深さを実感でき、さらに人間、社会、自然に対するものの見方、考え方を深め、人生を豊かにしていけるような国語学習を構想、実践していきたいと思いを新たにしています。

1 目的

生徒が普段向き合っている漢字について、中国の古代社会との関わりにおいて学ぶことで生徒の興味や関心を高め、漢字文化の豊かさを実感させたいとの思いから取り組んできた実践の一端である。

2 実践内容

(1) 中国古代社会との関わりにおける漢字指導

①第1時—甲骨文字・金文について

漢字の原初の姿である甲骨文・金文が、神への問いかけや祖先の祭祀に使われるための神聖な文字であったことを確認した（阿辻哲次『図説漢字の歴史』大修館書店・1989年参照）。

②第2・3時—古代文字の書写（漢字カルタの活用）

次に、漢字の字源について理解を深めることを目的として、白川学説を踏まえた「101漢字カルタ」（太郎次郎社）を活用した。

③第4時—中国古代社会と漢字との関わりについて

「漢字の源を解く鍵を握る殷の甲骨文字」（白川静『桂東雑記Ⅰ』平凡社、2003年所収）を講読。宗教的色彩の濃かった殷代の把握のために、「神・王・言・歌・口」といった漢字の字源についても触れ、学習のまとめとしてレポートを作成させた。

(2) 古代文字による篆刻づくり

上記のように白川文字学に触れた上で、自分の名前の古代文字を『字統』、『字通』で調べ、古代文字による篆刻づくりを行った。

(1)・(2)の学習活動を通して、生徒たちは眼前の漢字を窓口として、古代人の宗教観や古代社会の民俗・文化を垣間見られることを知り、新鮮な驚きと感動をもって漢字文化の豊かさを捉えた。

(3) 字源を援用した教科およびホームルーム指導

字源の援用は、話にメリハリを与えるとともに、説得力を増す効果があり、授業だけでなく様々なホームルームでの指導にも有効に働いている。

漢字のルビでもとの形と成り立ちを調べてみよう

2年1組 牛見 真博

古代文字	漢字ルビ	古代文字	漢字ルビ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ
	神への問いかけ		神への問いかけ

